



2024年8月9日

各位

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 代表者 代表取締役社長 加藤 公康
 (コード番号 6390)
 問合せ先責任者 執行役員財務統括部長 柳原 秀匡
 (TEL 03-3458-1130)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、現在推進している中国事業の見直しに伴い発生する影響額が期初において合理的に見積もることが困難なことから2024年5月14日公表の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2025年3月期の通期連結業績予想のうち親会社株主に帰属する当期純利益につきましては未定としておりました。本件に伴う現時点での影響額の概算が算定できたことを受け、未定であった予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 70,000	百万円 2,100	百万円 1,500	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	70,000	2,100	1,500	△ 5,400	△ 460.88
増減額(B-A)	0	0	0	—	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	57,498	1,654	2,575	4,235	361.49

* 想定為替レート(上期) 1米ドル=135円 1元=22円 (下期) 1米ドル=130円 1元=22円

2. 修正の理由

当社の中国事業につきましては、同国の高度経済成長と市場からの製品評価にも支えられたこともあり、今次発生が見込まれる損失を含めても十分な投資効果(約42億円)が出るなど、主力事業の1つとして当社業績の一翼を担ってきました。

しかしながら、近年になり中国地場メーカーの台頭に加え、不動産市況に起因したインフラ投資の鈍化による需要低下が続き、現在も事業環境について回復の目途が立たないことから、今後の連結業績への影響も踏まえ、中国事業の抜本的な見直しについて検討してまいりました。

期初において、事業の見直しに伴う影響額を合理的に見積もることが困難であったため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想につきましては未定としておりましたが、2024年6月20日並びに2024年7月12日に公表しました「連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」のとおり、中国子会社2社の解散・清算を決定したことを踏まえて、現時点における入手可能な情報をもとに業績予想を算定いたしました。

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、従来予想から変更はありませんが、本件に伴い発生する特別損失（子会社整理損）は現時点では概算で70億円ほどになるものと見込んだことから、親会社株主に帰属する当期純利益の予想は△54億円といたしました。

上記のとおり、当期の連結業績数値は一時的に厳しい数値となる見込みですが、今次発生する損失は一過性のものであり、当期で最終年を迎える中期経営計画の各施策により当社の足元における収益基盤は安定しつつあることから、来期以降の連結業績と資本収益性については本件に伴い改善していくものと認識しております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上